

# 第2期真庭市まち・ひと・しごと創生総合戦略 アクションプラン（「重点的な施策」の概要）

地方創生に向けて、真庭市総合計画で示す真庭市の将来像の達成のための5カ年（令和3年度～令和7年度）の具体的な実施計画として、市の実情に応じた主体的な施策を企画し、各施策を総合的・有機的な「政策パッケージ」として実施する。

令和2年12月策定

## **1 稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする**

- ①地域資源・産業を活かした地域の競争力強化
- ②働きやすい魅力的な就業環境と担い手の確保
- ③Local SDGsの実行による地域振興

## **2 ひととのつながりを築き、真庭への新しいひとの流れをつくる**

- ①誇りある真庭暮らしを発信しよう（発信：真庭を知ってもらおう）
- ②輝く真庭へおいでんさい（交流：真庭とつながろう）
- ③美しい定住の舞台をつくろう（定住：真庭に根をおろそう）

## **3 結婚・出産・子育ての希望と教育・社会福祉を地域で支える仕組みをつくる**

- ①結婚の夢をかなえる（出会い・結婚）
- ②妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援
- ③仕事と子育ての両立
- ④子どもと大人の共育
- ⑤安心して暮らすことができるまちづくり（健康長寿・共生社会）

## **4 ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる**

- ①地域資源を活かした個性あふれる地域の形成
- ②公共交通を活用したまちづくり
- ③安心して暮らすことができるまちづくり（地域防災）

# 1. 稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする

## 重点的な施策及び重要業績評価指標（KPI）

### ① 地域資源・産業を活かした地域の競争力強化

重点的な施策（中事業レベル）	重要業績評価指標（KPI）	施策達成のための事務事業（小事業レベル）【事業実施年度】	各事業の達成目標	横断的な目標
里山真庭の持続可能な森林経営 ◎ 施業地集約化による仕事場と雇用の創出 ◎ 広葉樹チップ燃料の低コスト化 ◎ 高い生産性と安全性の林業を推進	・素材生産量（原木量）：20%増(11万m <sup>3</sup> (R1)→13.2万m <sup>3</sup> (R6)) ・林業関係新規雇用者数：25名	里山真庭の森林づくり推進事業【R3～R7】 (森林経営の効率化の実践、持続可能な森林と林業を担うひと(組織)づくり、手入れの行き届いていない山林への対応)	・市内素材生産量20%増加 : 0.44m <sup>3</sup> /年増加 11万m <sup>3</sup> (R1)→13.2万m <sup>3</sup> (R6)	林業分野での未来技術の活用
		森林循環及び低コスト施業促進整備事業【R3～R7】 (森林資源の循環利用と主伐から再生林の一貫施業による低コスト化を推進)	・広葉樹のチップ燃料化：6,000t/年	
木材の需要拡大と価値向上 ◎ 真庭産材の市外向け販路拡大 ◎ CLTの利用促進とPR ◎ 都市部の工務店やデザイナー等と連携した木材産業の価値向上	・真庭木材事業協同組合加入事業者出荷量：10%増(12万m <sup>3</sup> (R1)→13.2万m <sup>3</sup> (R6)) ・真庭木材事業協同組合加入事業者新規雇用者数：75名	新築木造住宅助成事業【R3～R7】 (市内製材所製材品の需要拡大)	・新築木造住宅建築補助件数：40件/年	
		木材活用リノベーション事業【R3～R7】 (市内製材所製材品の需要拡大)	・建物リノベーション補助件数：40件/年	
		CLT利用促進支援事業【R3～R7】 (建築物のCLT導入や設計の支援、CLT木製品の導入支援、CLT施工者育成支援)	・CLT利用促進支援事業補助件数：4件/年	
		木材産業クラスター推進事業【R3～R7】 (製材品のブランド価値向上、“新たな木材の用途”検討体制の構築、都市部の工務店やデザイナー等との連携による、真庭の木材産業PR)	・都市部の工務店や美術館等との連携企画：1件/年 ・新たな木材製品の開発：2件	
林業・木材・木造建築教育・研究ゾーン構想の推進 ◎ 地域の基幹産業(林業・木材加工)及び市内官民の木材・木造建築に関する知見・技術を活用した教育・研究施設の集積	・教育・研究施設の誘致：1件	林業・木材・木造建築教育・研究ゾーン構想推進事業【R3～R7】 (木質建築・森林利活用教育研究拠点の誘致)	・検討委員会開催数：1回/年	官民連携、地方創生SDGsの実現

①地域資源・産業を活かした地域の競争力強化				
重点的な施策（中事業レベル）	重要業績評価指標（KPI）	施策達成のための事務事業（小事業レベル）【事業実施年度】	各事業の達成目標	横断的な目標
農作業の生産性向上に向けたスマート農業の推進 ◎中山間地域に適したスマート農業技術の普及 ◎新技術の導入に伴う新たな仕事の創造 ◎持続可能な農業の実現	・スマート農業取組法人数：1法人/年 ・スマート農業取組農業者数：2名/年	スマート農業技術導入による持続可能な農業推進事業【R3～R7】 (スマート農業機械及び農業用ドローン又はリモコン草刈機導入時の支援)	・スマート農業機械を導入した農地所有適格法人数：1件/年 ・スマート農業機械を導入した認定農業者または認定新規就農者数：2名/年	農業分野での未来技術の活用
		スマート農業技術の開発・実証プロジェクト【R3～R7】 (中山間地域に適合するスマート農業技術の検証・実証、スマート農機具を適切かつ効果的に活用した持続可能な農業の周知)	・スマート農業に関連した研修会への参加者：延べ120名/年	農業分野での未来技術の活用
地域のモノとヒトをつなぐ「しごと」づくり ◎真庭地域産業振興センター事業	・地域課題解決型起業者：1名/年(5年で5名の起業者)	産業プラットフォーム構築事業【R3～R7】 (モノのマッチング(サポートセンターの名物開発支援、販路開拓支援)、市内企業情報データベース作成及び情報発信)	・新商品開発：3件/年	サービス産業分野等での未来技術の活用
		コミュニティビジネス・ソーシャルビジネス支援事業【R3～R7】 (わくわく地方生活実現政策パッケージ等による人材確保、起業支援補助事業)	・起業数：1件/年	サービス産業分野等での未来技術の活用

②働きやすい魅力的な就業環境と担い手の確保				
重点的な施策（中事業レベル）	重要業績評価指標（KPI）	施策達成のための事務事業（小事業レベル）【事業実施年度】	各事業の達成目標	横断的な目標
だれもが安心して働く場の創造 ◎女性のしごと環境の充実 ◎共生社会に対応した雇用環境作り	・障がい者雇用数：2名増/年(5年で10名増)	多文化共生コーディネーター育成事業【R3～R7】 （従業員等が多文化共生社会について理解を深めるように、事業所に対して、知識獲得や啓発活動、環境整備を支援する）	・就労支援研修受講者：1名/年	地域共生社会の実現、多文化共生の推進
		企業内保育所推進事業【R3～R7】 （既存の企業内保育所を運営している企業に対して、近隣企業等からの受入れ拡大を推進するため支援する）	・企業内保育所への参画事業所数：1社増/年	中小企業等による地域・社会課題の解決
		キャリア教育事業【R3～R7】 （次世代の産業人材を確保するため、成長の段階に併せた就業意識や意欲を創出するための環境整備を支援する）	・企業見学バスツアー参加企業数：5社/年	
農業の基盤強化 ◎農業の基盤強化による農業従事者の確保	・農業生産法人または法人の参入数：5件(1件/年)	起農プロジェクト事業【R3～R7】 (真庭起農スクールの開設)	・新規就農者数：10名/年	
		女性農業者支援事業【R3～R7】 (女性農業者研修、女性農業者の活躍のためのネットワーク構築支援)	・新規女性就農者数：2名/年	女性の新規就業及び社会参加の促進等
		帰農&来農応援事業【R3～R7】 (跡継ぎ又は継業準備費用支援)	・新規跡継ぎ(継業)帰(来)農者数：3名/年	
		真庭いきいき帰農塾【R3～R7】 (「野菜・トマト・ぶどう・花き等」の作物別コース、女性農業者対象コース、帰農塾マッチング相談会)	・卒塾生の新規就農者数：5名/年	女性の新規就業及び社会参加の促進等
農業に携わる雇用の場の創出 ◎農作業支援等で活躍できる地域の人材を育成 ◎高齢化や担い手の不足により労働力が不足している農業分野と地域の人材とのマッチング ◎農業分野の人手不足解消及び地域の新たな雇用の場の創出	・農作業支援マッチング成立件数：25件(5件/年)	まにわ農業応援隊推進事業【R3～R7】 (農作業支援を求める農業者と農業分野で働きたい人とのマッチング、専門的な農作業支援を担える人材“応援隊”の育成)	・応援隊等支援者新規登録者数：15名/年	官民連携による女性・高齢者等の新規就業の促進等、地方就労・自立支援事業などを通じた活躍推進型就労の展開

③Local SDGsの実行による地域振興				
重点的な施策（中事業レベル）	重要業績評価指標（KPI）	施策達成のための事務事業（小事業レベル）【事業実施年度】	各事業の達成目標	横断的な目標
観光による豊かな地域づくり ◎「住んでよし・訪れてよし」の観光地域づくり	・年間観光消費額の増額： 1%増/年(5年で5%増加)	観光客誘致推進事業【R3～R7】 (真庭市観光戦略に基づいた施策の推進、「真庭版DMO(真庭観光局)」を中心とした各種事業の展開、ビジターセンター(CLT建築)を活用した情報発信)	・体験コンテンツ実施団体： 新規増設1件/年 ・住民が参画するプログラムの形成：1件/年	
分散型エネルギーの推進 ◎地域資源の有効活用による「地域循環共生圏・回る経済」の実践 ◎木質バイオマスエネルギー利活用推進	・真庭市エネルギー自給率： 80%(R6) (R1→62.3%) ・木質によるエネルギー自給率： 50%(R6) (R1→28.5%)	広葉樹の活用や、地域マイクログリッド構築による自然エネルギー100%のまちづくりの推進【R3～R7】 (地域資源の有効活用による「地域循環共生圏・回る経済」の実施)	・木質バイオマスによるCO <sub>2</sub> 削減量：10万t/年	
		木質バイオマス利用開発推進事業【R3～R7】 (バイオマスストーブ、ボイラの導入支援)	・バイオマスストーブ及びボイラの導入数：11基/年	
		バイオマス利活用推進事業【R3～R7】 (林業及びバイオマスの先進地である真庭市のPR、学生を中心に対象とした普及啓発活動)	・普及啓発参加人数：300名/年	地方創生SDGsの普及促進活動の展開、地方創生を学ぶ機会の創出
生ごみ資源化による地域産業の創出 ◎廃棄物の資源化・循環化による地域産業の創出	・生ごみ等資源化事業の起業：1件 ・新規雇用者数：8名	生ごみ資源化地域産業事業【R3～R6】 (生ごみ等の資源化事業の実施、地元農家での利活用)	・生ごみ等資源化施設の運転管理スキーム構築：1件 ・生ごみ収集スキーム構築：1件 ・バイオ液肥運搬・散布スキーム構築：1件	

## 2. ひととのつながりを築き、真庭への新しいひとの流れをつくる

### 重点的な施策及び重要業績評価指標（KPI）

#### ①誇りある真庭暮らしを発信しよう（発信：真庭を知ってもらおう）

重点的な施策（中事業レベル）	重要業績評価指標（KPI）	施策達成のための事務事業（小事業レベル）【事業実施年度】	各事業の達成目標	横断的な目標
ふるさとを届けよう ◎市民が主体となる広報戦略 ◎真庭暮らしの魅力を発信	・「真庭市認知度アンケート調査による認知度」 : 40%以上 (H29:30%)	Human♡プロモーション【R3～R7】 （真庭PRアンバサダー〔大使〕の育成） ・PRセミナーを開催し若い世代からの真庭の発信を目指す	・セミナー、ワークショップ 実施数：15件 ・セミナー、ワークショップ 参加者数：125人 ・交流会開催数：2回	
		企業版ふるさと納税で真庭をPR【R3～R6】 （真庭市の人口減少対策に賛同できる企業にPR） ・真庭の人口減少対策を企業にPRして賛同を得る	・新規賛同企業数： R6年度(制度延長期限) までに4社(累積9社)	「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」を通じた民間参画の促進
		ふるさと納税で真庭をPR【R3～R7】 （真庭らしい特産品や積極的に活用している地域をPR） ・真庭の特産品のこだわりをPRする ・地域の取り組みをPRする	・新規協賛企業数：15社 ・取組発信地域数：10地域	
		ふるさとの暮らしを発信しよう【R3～R7】 （真庭で暮らす人の発信） ・「真庭人」等で人の生き方を見せるPR ・真庭の「ひと」に出会えるイベント紹介	・コンテンツアップ数：800件 ・アクセス数目標/年 : 48,000PV ・まにわライフナビ (メールマガジン) 登録件数：10,000件	

②輝く真庭へおいでんさい（交流：真庭とつながろう）

重点的な施策（中事業レベル）	重要業績評価指標（KPI）	施策達成のための事務事業（小事業レベル）【事業実施年度】	各事業の達成目標	横断的な目標
交流・定住の仕組みを展開 ◎交流から定住につなげる取り組みの推進 ◎関係人口につなげる受入体制・コンテンツの整備	移住者数：1,000人 関係人口数：300人	Let's IJU 【R3～R7】 （移住定住のワンストップを展開） ・移住相談から転入、定住後のフォローを一体的に実施する	・移住相談件数：750件 ・真庭暮らし体験数：50件 ・移住者数：1,000人	
		交流・ふやそう関係人口 【R3～R7】 （交流資源の磨き上げ・コンテンツ整備） ・繰り返し真庭に来たくなる交流の資源磨きと実践 ・市民が真庭市をより知っていただく地域間交流	・関係人口数：300人 ・交流コンテンツ実施数：40件	一人ひとりが魅力づくりの担い手となる地方創生
		真庭へStay home 【R3～R7】 （空き家の利活用・一戸建賃貸の拡充） ・空き家を移住・定住促進のために取得・改修補助 ・希望の多い賃貸の一戸建を増やす補助の整備〔検討〕	・空き家の利活用数：100件 ・一戸建賃貸流通数：15件 ・コーディネーター設置：1人	
		豊かな真庭の暮らし体験 【R3～R7】 （おためし住宅・短期滞在できる拠点の整備） ・持続可能なまちづくり拠点整備（居場所・新しい仕事づくり） ・地域が運営する「おためし住宅」改修の支援 ・短期滞在できる施設の整備〔検討〕	・地域拠点整備数：20件 ・認定空き家制度登録地域数：16地域 ・地域の空き家改修数：25件	誰もが活躍できるコミュニティの形成 生活分野での未来技術の活用
		林業・木材・木造建築教育・研究ゾーン構想推進事業 【R3～R7】 （再掲） （木質建築・森林利活用教育研究拠点の誘致）	・検討委員会開催数：1回/年 ・調整会議開催数：4回/年 ・拠点誘致数：1施設	官民連携、地方創生SDGsの実現

③美しい定住の舞台をつくろう（定住：真庭に根をおろそう）				
重点的な施策（中事業レベル）	重要業績評価指標（KPI）	施策達成のための事務事業（小事業レベル）【事業実施年度】	各事業の達成目標	横断的な目標
真庭の誇りを生み出そう ◎若者の定住推進 ◎市民同士の関係性づくり ◎定住の土台づくり	・市民活動に関わる人 500人 ・地域おこし協力隊採用数 23人 ・地域と人を結ぶコーディネーター設置 2人	真庭を愛する心を育もう【R3～R7】 （若い世代の定住推進） ・若者・子ども向けに真庭に誇りを持てるコンテンツを実施していく	・コーディネーター設置数：2人 ・定住コンテンツ実施数：13件	新たな全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」の展開
		真庭でつながろう【R3～R7】 （地域人材・地域組織（NPO・市民団体）と連携した「ひと」と「ひと」との関係性づくり） ・市民によるさまざまなイベント（交流・結婚・世代間等）開催 ・地域おこし協力隊の持ち味を生かしたつながりづくり ・子育て中のお母さん・若い世代などのつながりづくり ・NPOの支援	・市民活動に関わる人 500人 ・市民活動補助事業活用団体数 120団体 ・地域おこし協力隊採用数 23人	新たな全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」の展開
		真庭の価値をあげよう【R3～R7】 （地域貢献のポイント化、地域内消費へのポイント活用により善意で回る地域をつくる） ・地域貢献を地域住民に還元できる仕組みづくり	・市民ポイント基盤利用者数：18,000人 ・加盟店数：210店舗	新たな全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」の展開
地域資源を生かして地域を元気にしよう ◎地域資源を活用し、住民が主役となる取り組みの構築	・地域振興組織の立ち上げ数：6組織 ・活動を支える人：320人	北房地域振興事業（阿口）【R3～R7】 （阿口のさまざまな資源と遊休施設をつなぎ、里山での体験を通じて都市部や海域の住民と地元住民が交流する）	・里山体験受入先：3団体 ・支える人：20人 ・体験メニュー参加者数：170人	地域運営組織の持続的な取組の支援
		北房地域振興事業（いにしえ）【R3～R7】 （大学等と連携しながら昭和の砦部の町並み整備や古墳などの歴史遺産の活用を進め、人と文化が行き交うまちづくりを行う）	・拠点整備数：1施設 ・支える人：25人 ・交流施設利用者：6,150人	地域運営組織の持続的な取組の支援
		落合地域振興事業（別所）【R3～R7】 （住民と大学生が連携しながら別所地区の遊休施設や空き家を利活用した交流・学びと体験事業を行う）	・地域の活動組織：1組織 ・支える人：20人 ・交流イベント開催数：5回 ・交流人口数：1,000人	地域運営組織の持続的な取組の支援

③美しい定住の舞台をつくろう（定住：真庭に根をおろそう）

重点的な施策（中事業レベル）	重要業績評価指標（KPI）	施策達成のための事務事業（小事業レベル）【事業実施年度】	各事業の達成目標	横断的な目標
前頁の続き	前頁の続き	<p>落合地域振興事業（上田・吉）【R3～R7】 （上田地域を宿泊の拠点とし、同じ津田地区の吉地域と相互連携を図り、津田地区全体で交流・学びの体験事業を行う）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流イベント開催数：10回</li> <li>・支える人：25人</li> <li>・交流人口数：800人</li> </ul>	<p>地域運営組織の持続的な取組の支援</p>
		<p>久世地域振興事業（まち）【R3～R7】 （「まち」に人の集まる拠点をつくり「まち」に関わる人が増える）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点整備数：3施設</li> <li>・支える人：70人</li> <li>・任意団体から地域振興会社へ：1組織</li> </ul>	<p>地域運営組織の持続的な取組の支援</p>
		<p>勝山地域振興事業（富原）【R3～R7】 （地域の困りごとを解決する機能を集約した小さな拠点づくり）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の活動組織：1組織</li> <li>・支える人：50人</li> <li>・拠点整備数：2施設</li> </ul>	<p>地域運営組織の持続的な取組の支援</p>
		<p>美甘地域振興事業（拠点づくり）【R3～R7】 （生活と経済の地域課題を地域が自己解決する仕組み構築）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流事業・研修会開催数：21回</li> <li>・地域振興団体の育成組織：1組織</li> <li>・支える人：20人</li> </ul>	<p>地域運営組織の持続的な取組の支援</p>
		<p>湯原地域振興事業（式内八社）【R3～R7】 （歴史調査から掘り起こされた地域資源を観光・交流・定住につなげる）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流人口数：3,800人</li> <li>・支える人：35人</li> </ul>	<p>地域運営組織の持続的な取組の支援</p>
		<p>湯原地域振興事業（二川）【R3～R7】 （旧二川小学校を拠点とした取り組みにより、観光・交流・定住へ繋げるとともに、持続的な活動を地域自らが実現させる）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域振興団体(会社)の設立数：1社</li> <li>・新規雇用者数：2人</li> <li>・支える人：25人</li> <li>・交流人口数：9,500人</li> </ul>	<p>地域運営組織の持続的な取組の支援</p>
		<p>蒜山地域振興事業（里山再生）【R3～R7】 （蒜山の地域資源を活用することで、地域価値を高め、蒜山の自然環境と景観が未来に残る持続可能な地域づくりの実現を目指す）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の価値を学ぶ会開催数：25回</li> <li>・学びの会参加者数：800人</li> <li>・自然環境保全活動の担い手グループ組織化：1組織</li> <li>・支える人：30人</li> </ul>	<p>地域運営組織の持続的な取組の支援</p>

### 3. 結婚・出産・子育ての希望と教育・社会福祉を地域で支える仕組みをつくる

#### 重点的な施策及び重要業績評価指標（KPI）

##### ①結婚の夢をかなえる（出会い・結婚）

重点的な施策（中事業レベル）	重要業績評価指標（KPI）	施策達成のための事務事業（小事業レベル）【事業実施年度】	各事業の達成目標	横断的な目標
まにわの「わ」づくり ◎若いひとの交流などを通じて、人と人の出会いの場を作ることで、結婚の希望がかなえられるよう支援する。	真庭市成婚数：145組/年	ハッピーコンシェルジュ事業（結婚推進）【R3～R7】 （結婚に対して積極的になれない方に、出会いの場、交流機会を創出、また新婚世帯に経済的な支援を行うなど市内の結婚推進活動を行う）	・縁結び推進委員による引き合わせ組数：のべ100組 ・事業活用組数：のべ60組	
		真庭を元気にする活動応援事業【R3～R7】 （市内事業所が開催するイベントや企業間交流、若者同士のネットワークづくりをサポートすることにより、若者の交流機会の創出、元気あふれるまちづくりを推進する）	・事業活用団体数：のべ100件	
		ナイトまにわくん運行事業【R3～R7】 （コミュニティバスまにわくんの夜便(臨時)を運行。夜の外出を支援することで、市民交流、出会いの機会、賑わいと経済効果を創出する）	・運行回数：6回/年 ・利用人数：のべ500人 ・協力飲食店：のべ60店舗	

##### ②妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援

重点的な施策（中事業レベル）	重要業績評価指標（KPI）	施策達成のための事務事業（小事業レベル）【事業実施年度】	各事業の達成目標	横断的な目標
妊娠・出産・子育てに温かい社会づくり ◎様々な子育てサービスを提供し、安心して妊娠・出産・子育てができる環境を整備する	真庭で今後も子育てをしたい人の割合：95%以上	不妊治療支援事業【R3～R7】 （保険適用外の不妊治療にかかった費用を助成する）	・不妊治療支援事業申請者数：のべ240件	
		妊産婦ケア事業【R3～R7】 （はぐくみセンターの更なるPRを図り、各種妊産婦ケア事業の対象期間を延長するなどにより利用しやすい環境をつくる）	・真庭市子育て世代包括支援センター（はぐくみセンター）を知っている割合：90%以上	
		オンライン子育て情報事業【R3～R7】 （オンラインを活用し、妊娠・出産・子育てに関して相談できる環境づくり、情報提供を行う）	・助産師や保健師等からの指導・ケアを十分に受けることができた割合：93%以上	生活分野での未来技術の活用
		いのちふれあい事業【R3～R7】 （中高生が子育てを体験することにより、生命の尊さを知り、家族の大切さを考える事業）	・市内実施中学校：6校	

③仕事と子育ての両立				
重点的な施策（中事業レベル）	重要業績評価指標（KPI）	施策達成のための事務事業（小事業レベル）【事業実施年度】	各事業の達成目標	横断的な目標
誰もが安心して子育てできる環境の整備 ◎子どもを預けられる場所の充実、いつでも相談や集える場をつくることで、安心して妊娠・出産・子育てができる環境を整備する	待機児童（放課後児童クラブも含む）：0人	子どもが集える拠点整備事業【R3～R7】 （親子で遊べたり、子育てについての相談などができる、子どもと保護者が集える場所を整備する）	・拠点整備数：1カ所	
		子どもの放課後の居場所確保事業【R3～R7】 （放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の運営支援、放課後児童クラブ専用スペースの確保により放課後の子どもの居場所を確保する）	・放課後児童クラブの待機児童数：0人	女性の新規就業及び社会参加の促進等
		病児保育事業【R3～R7】 （子どもの急な病気等に対し、病児保育事業専用スペースにおいて一時的に預かる病児保育事業の実施に向けた許認可や支援）	・病児保育事業所設置数：1カ所の増	女性の新規就業及び社会参加の促進等
		地域で子育てをサポートする事業【R3～R7】 （子育ての援助を受けたい人、子育ての援助ができる人をつなぐ事業）	・事業実施拠点数：3カ所	誰もが居場所と役割を持つ地域社会の実現
		企業内保育所推進事業【R3～R7】（再掲） （既存の企業内保育所を経営している企業に対して、近隣企業等からの受入れ拡大を推進するため支援する）	・企業内保育所への参画事業所数：1社増/年	中小企業等による地域、社会課題の解決
		就業環境向上ステップアップサポート事業（仮称）【R3～R7】 （労働者の働きやすい環境整備に取り組む「企業」に対し支援を行う）	・行動計画策定企業：5社 ・プラン策定企業：5社	中小企業等による地域、社会課題の解決

④子どもと大人の共育				
重点的な施策（中事業レベル）	重要業績評価指標（KPI）	施策達成のための事務事業（小事業レベル）【事業実施年度】	各事業の達成目標	横断的な目標
真庭を愛する「ひと」をつくる ◎真庭のことを知ってもらふ事業を実施し、真庭愛を育んでもらう	真庭市に住み続けたい意思がある割合：85%以上	“里山まにわ”からの贈り物事業【R3～R7】 （幼児期から木のぬくもりや香りなどを五感で感じることで、豊かな感性や自然を大切にすることを育てるため、真庭産の木材を使用して障害者就労施設等で製作したおもちゃを贈るもの）	・「満足している」「やや満足している」と答えた交付家庭の割合：95%以上	
		人材育成支援事業【R3～R7】 （地域住民による、地域の歴史、自然、文化を生かした学習事業を実施し、多彩な真庭について体験する事業）	・実施団体数：5団体/年 ・参加人数：150人/年	地方創生を担う「ひとづくり」のための多様な主体の連携
		市民大学事業【R3～R7】 （歴史・文化・自然・産業などさまざまなテーマから、全国的にも著名な講師を起用し、市民等に学びの場を提供していく）	・講座の参加者数：500人	地方創生を学ぶ機会の創出
		地域郷土資料アーカイブ事業【R3～R7】 （市民や郷土博物館、公民館など市内施設等との協働・連携による、地域郷土資料[民話の語り、口述歴史、写真等]の収集・記録・デジタル化と利活用支援）	・地域郷土資料を使ったプログラム(「Wikipedia town」等)の開催：1回/年	地方創生を担う「ひとづくり」のための多様な主体の連携
		キャリア教育事業【R3～R7】（再掲） （次世代の産業人材を確保するため、成長の段階に併せた就業意識や意欲を創出するための環境整備を支援する）	・企業見学バスツアー参加企業数：5社/年	

④子どもと大人の共育				
重点的な施策（中事業レベル）	重要業績評価指標（KPI）	施策達成のための事務事業（小事業レベル）【事業実施年度】	各事業の達成目標	横断的な目標
教育を地域で支える仕組みをつくる ◎ 世代を超えた学びあい、地域の人々の参画により、世代を超えて互いを応援する教育を実現する	地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがあると回答した児童生徒の合：小学生65%中学生50%以上	<b>学びあいまちづくり事業【R3～R7】</b> （地域の人々が中心となった学習環境づくりを行う。ボランティア講師の方などに人材バンクに登録していただき、市民の活躍の場ができるよう支援していく。）	・情報紙掲載講座数：210講座 ・人材バンク登録者数：のべ100人 ・3年間に1名以上公民館講座の生徒から講師を輩出	全員活躍型「生涯学習のまち」の展開
		<b>学校運営協議会制度の設立推進事業【R3～R7】</b> （学校運営協議会制度の設立推進）	・地域の方を講師にした校内研修の実施回数が各校年1回以上	誰もが活躍できるコミュニティの形成
		<b>市立図書館と学校図書館との連携強化事業【R3～R7】</b> （学校図書館蔵書のデータ化：児童・生徒・教員・学校司書が必要な資料を探せる。学校司書・市立図書館司書が選書等に活用できる。） （市内の全蔵書を活用した小中学校図書館を使つての授業支援）	・蔵書の共通データ化：全校 ・学校図書館を使つての授業支援：小中学校全校	
		<b>学校給食の地産地消の推進【R3～R7】</b> （学校給食にて真庭市の食材のみを使用した「真庭食材の日」を実施することで、課題を見つけ分析し地産地消の推進に努める。）	・農産品4品目（じゃがいも、玉ねぎ、大根、キャベツ）の年間地産地消率：30%以上 ・真庭食材の日の開催日数年間8日	

④子どもと大人の共育				
重点的な施策（中事業レベル）	重要業績評価指標（KPI）	施策達成のための事務事業（小事業レベル）【事業実施年度】	各事業の達成目標	横断的な目標
<p>くらしの中にある豊かさを感じる心と体を育む</p> <p>◎市民の感受性と知性を涵養するための情報や機会、交流の場、さらに健やかな人生を暮らすための「健康づくり」に自ら取り組む環境を創出・提供する</p>	<p>1年間に文化的な催しを鑑賞、見学、体験した人及び日常的に文化に親しんでいる人の割合：80%以上</p>	<p>多様な文化交流事業（地域交流事業）【R3～R7】</p> <p>（芸術家を招き、真庭で文化芸術を学び、交流できる事業及び親子で文化芸術に親しむことができる事業を実施）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催回数：のべ15回</li> <li>・参加者数：のべ2,500人</li> </ul>	<p>地域資源を活用した、芸術家や地域等との交流による文化・芸術イベント等により、郷土愛やシビックプライドを醸成する</p>
		<p>芸術アウトリーチ事業【R3～R7】</p> <p>（小・中学生等を対象に質の高い音楽、演劇、伝統工芸、伝統芸能などに触れる機会を創出）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験事業数</li> <li>派遣型：のべ125回</li> <li>鑑賞型：のべ15回</li> <li>・体験者数：のべ7,500人</li> </ul>	<p>子どもたちの文化芸術への関心を高め、感性と創造性を育む</p>
		<p>市民主体の図書館運営【R3～R7】</p> <p>（図書館運営を支える市民や団体と協力しあう関係を築くこと、図書館の利用方法や役割を知ること、まちなみ図書館を推進することなどにより、市民が主役となり図書館をそだてて行く機運を醸成する）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア連絡会議：年1回以上開催</li> <li>・利用教育実施校：10校/年</li> <li>・まちなみ図書館の整備：のべ20店舗</li> </ul>	<p>一人ひとりが魅力作りの担い手となる地方創生</p>
		<p>馬術振興事業【R3～R7】</p> <p>（馬術の認知度向上に取り組み、馬術や乗馬人口の裾野を広げる。また、馬の持つ魅力を生かした関係人口の増加を目指すことで、馬術振興を図っていく）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国レベル馬術競技大会誘致：1大会</li> <li>・蒜山ホースパーク利用者数：10,000人/年</li> </ul>	<p>馬術の振興と活用による人口減少対策</p>
		<p>司書資格取得支援【R3～R7】</p> <p>（司書資格を取得するために必要な費用の一部を補助することにより、本や情報を扱う専門的な知識を持ち図書館を支える人材を増やし、図書館活動を充実させる）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業を利用して司書資格を取得した者の数：のべ10人</li> </ul>	
<p>高等教育環境の整備</p> <p>◎真庭市内に高等教育機関を誘致・整備することで、若い世代の流出を抑制するとともに、地域人材の育成に繋げる。</p>	<p>高等教育機関の誘致数：1件</p>	<p>林業・木材・木造建築教育・研究ゾーン構想推進事業【R3～R7】（再掲）</p> <p>（木質建築・森林利活用教育研究拠点の誘致）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検討委員会開催数：1回/年</li> <li>・調整会議開催数：4回/年</li> <li>・拠点誘致数：1施設</li> </ul>	<p>官民連携・地方創生SDGsの実現</p>

⑤安心して暮らすことができるまちづくり（健康長寿・共生社会）				
重点的な施策（中事業レベル）	重要業績評価指標（KPI）	施策達成のための事務事業（小事業レベル）【事業実施年度】	各事業の達成目標	横断的な目標
健康増進・病気予防に向けた新たな取組の展開 ◎安心して暮らすことができるまちづくり施策実現のため、市民の健康づくり実践や運動習慣化につながるよう、健康のインセンティブ付与や健康情報の見える化、関係団体のネットワーク整備、健康プログラムの構築等を実施し、市民の健康づくりの参加・継続を促す	・歩数（活動量）の増加 →1,000歩増加/1人1日 （R2データ比較） ・運動習慣者の割合 →20%増（R1比較）	運動習慣化サポート事業【R3～R7】 （市民の健康づくりのきっかけや運動が習慣化につながるよう、スポーツ施設や運動施設等の機能、ヘルシーメニュー、健康管理クラウド等を組み合わせた健康プログラムを実施する）	・健康プログラムの実施：2施設以上 ・参加者数：120人/年	疾病予防や健康づくりの推進による地域の活性化
		まにわヘルスクラブ事業【R3～R7】 （タニタの「活動量計」を身に着け、歩数や消費カロリーを測定。歩数のほか健診参加などでポイントをためて景品と交換。市民は楽しみを持ちながら健康づくりにつなげ、将来的な医療費の削減を目指す。地域通貨基盤のネットワークを活用。転入者には「活動量計」無料配布）	・参加者数：500人/年	官民連携、疾病予防や健康づくりの推進による地域の活性化
社会参加や活動の場の推進 ◎市内全域に、誰でも参加できる集いの場を広げ、運動・交流活動等を通じて生きがい・健康づくりや支え合いの地域づくりを推進する	週1回の集いの場：120ヶ所	誰でも参加できる集いの場の推進【R3～R7】 （高齢者が運動等に取り組む地域の「集いの場」をさらに拡大しながら、子どもや子育て世代も含めた幅広い世代の参加を進め、地域がつながる拠点を推進する）	週1回の集いの場：120ヶ所	地域コミュニティの維持・強化、疾病予防や健康づくりの推進による地域の活性化

⑤安心して暮らすことができるまちづくり（健康長寿・共生社会）				
重点的な施策（中事業レベル）	重要業績評価指標（KPI）	施策達成のための事務事業（小事業レベル）【事業実施年度】	各事業の達成目標	横断的な目標
誰もが活躍する地域社会の実現 ◎生活における楽しみや生きがいを見出し、様々な困難を抱えた場合でも、安心してその人らしい生活ができ、活躍できる地域社会を推進する	SDGs パートナー登録数：200	インクルーシブ教育の推進【R3～R7】 （障害のある児童生徒と障害のない児童生徒が共に学ぶインクルーシブ教育の推進）	・特別支援学級在籍児童生徒の学級満足度70%	地域共生社会の実現
		パラスポーツ普及推進事業【R3～R7】 （障がい者スポーツである「パラスポーツ」について、誰もが参加できるパラスポーツ体験イベント等を通じ、「パラスポーツ」を、障害の有無に関係なく一緒に実践できる「ユニバーサルスポーツ」として普及する）	・パラスポーツ体験イベント参加者数：のべ1,500人 ・パラスポーツ等の交流会等の実施団体数：のべ10団体	地域共生社会の実現
		心のバリアフリー推進事業【R3～R7】 （市内小中学生や市民に対して、パラスポーツ選手による心のバリアフリー講演等を実施する）	・心のバリアフリー教育実施校：のべ10校 ・心のバリアフリー講演会：のべ5回	地域共生社会の実現
		障害者雇用機会拡大事業【R3～R7】 （障がいのある人の就業を推進するため、法定雇用義務を課せられていない中小企業や農業者等に対し、セミナーや相談会等を通じ、広く障がいへの理解を促進するとともに、中小企業や小規模農業者だからこそできるきめ細やかな対応で、中山間地における先進的な取組として地域ぐるみで雇用機会の拡大を図る。）	・「障がいのある人を雇用している」「将来的に障がいのある人を雇用したい」「就労継続支援事業所などの福祉作業所へ業務を委託している・委託したい」と回答した企業の割合50%	地域共生社会の実現
		ジョブコーチ育成支援事業【R3～R7】 （障がいのある人に対する職務遂行や職場内のコミュニケーション等の支援や、事業主に対して障害特性に配慮した雇用管理等に関する支援を行う「ジョブコーチ」の育成を支援することにより、障がいのある人の就労を支援するとともに、事業主等に対して理解促進と雇用管理等の具体的な支援を行うことで、障がいのある人の雇用機会の拡大を図る。）	・ジョブコーチ育成数：2名	地域共生社会の実現
		多文化共生コーディネーター育成事業【R3～R7】（再掲） （従業員等が多文化共生社会について理解を深めるように、事業所に対して、知識獲得や啓発活動、環境整備を支援する）	・就労支援研修受講者：1名/年	地域共生社会の実現

## 4. ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

### 重点的な施策及び重要業績評価指標（KPI）

#### ① 地域資源を活かした個性あふれる地域の形成

重点的な施策（中事業レベル）	重要業績評価指標（KPI）	施策達成のための事務事業（小事業レベル）【事業実施年度】	各事業の達成目標	横断的な目標
地域資源の活用による真庭の魅力向上 ◎ 魅力的な真庭の玄関口や観光拠点の整備 ◎ 既存ストックを活用した質の高い暮らしのためのまちの機能の充実	・新築家屋件数：625件 ・未利用公共施設、公有遊休地の活用実績（売却・貸付）：20件	真庭の玄関口魅力アップ事業【R3～R7】 （真庭の玄関口である鉄道の駅・高速道路のインターチェンジ周辺を、魅力的で利便性の高い地域となるよう整備）	・整備方針決定数：3件 ・整備実施数：3件	地域コミュニティの維持・強化、地方創生SDGsの実現
		共生社会に対応したトイレ整備事業【R3～R7】 （真庭市の主要公共施設・観光施設への「だれでもトイレ」整備）	・真庭版「だれでもトイレ」整備（主要地点5か所に設置）	共生社会の実現
		岡山市と真庭市を結ぶ主要道路の整備促進事業【R3～R7】 （岡山自動車道の全線4車線化の早期実現を促進し広域ネットワークの充実強化を図る）	・岡山自動車道全線4車線化 高梁SA～賀陽IC間 ：工事残区間の事業化 ・岡山自動車道利用台数 有漢IC～北房JCT間 ：10,000台/日 （R1現在：9,145台/日）	地方創生SDGsの実現
		SDGs エシカルファームモデル事業【R3～R7】 （「バイオ液肥」を使った農作物の栽培を行う、資源循環のモデル地区づくり）	・事業スキームの確立 1件 ・受け皿団体の育成 1件	官民連携、地方創生SDGsの実現
		地域主体の宅地活用事業【R3～R7】 （土地・建物の有効活用を行う地域組織等に対する補助事業）	・地域組織の働きかけによる 老朽危険空き家の除却：1件/年 ・地域組織のマッチングにより 建築された住宅：1件/年	地域コミュニティの維持・強化、地方創生SDGsの実現
		未利用公共施設、公有遊休地の有効活用事業【R3～R7】 （活用提案募集、売却・貸付等の募集PR）	・募集回数：1回以上/年	

②公共交通を活用したまちづくり				
重点的な施策（中事業レベル）	重要業績評価指標（KPI）	施策達成のための事務事業（小事業レベル）【事業実施年度】	各事業の達成目標	横断的な目標
地域に適した地域交通の実現に向けた環境整備 ◎公共交通ネットワークの再編検討 ◎あぐりネットワーク事業とコミュニティバスまにわくんの連携	・公共交通利用者数： 170,000人/年	効率的・効果的な公共交通のあり方の検討【R3～R7】 （公共交通の役割の明確化、効率的な運行の再編についての検討、及びまにわくんの新たな活用や利用促進）	・効率化への具体的見直し 件数：6件	未来技術の活用
		まにわくん（枝線）に代わる交通手段の活用検討事業【R3～R7】 （共助による地域内運行への転換・地域内運行の拡大と運送業者との連携）	・まにわくん枝線に代わる交通手段の活用検討 ：取組地域5か所(1か所/年)	地域コミュニティの維持・強化、未来技術の活用
		ナイトまにわくん運行事業【R3～R7】（再掲） （コミュニティバスまにわくんの夜便(臨時)を運行。夜の外出を支援することで、市民交流、出会いの機会、賑わいと経済効果を創出する）	・運行回数：6回/年 ・利用人数：のべ500人 ・協力飲食店：のべ60店舗	
		ヒトとモノ乗りあい事業（貨客混載推進）【R3～R7】 （まにわくんや地域内運行の有効活用として、乗客と、貨物輸送を同時に行い効率化を図る）	・貨客混載運行実施路線：4路線 ・あぐりネットワーク集荷場所：2箇所増 ・あぐりネットワーク出荷登録者数：20名増	社会的事業を巡る環境整備、未来技術の活用
③安心して暮らすことができるまちづくり（地域防災）				
重点的な施策（中事業レベル）	重要業績評価指標（KPI）	施策達成のための事務事業（小事業レベル）【事業実施年度】	各事業の達成目標	横断的な目標
地域防災の確保 ◎災害に対する対応の強化	・自主防災組織組織率： 88%以上	自主防災組織育成強化事業【R3～R7】 （各振興局との連携による自主防災組織の設立推進）	自主防災組織 ・目標組織率：88%以上	地域コミュニティの維持・強化、地方創生SDGsの実現